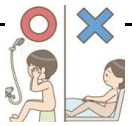
クリニカルパスウェイ
鼠経ヘルニアの手術を受ける患者さんへ

2017年4月作成
2025年12月改訂
東京慈恵会医科大学西部医療センター

患者番号　@PATIENTID　　**患者氏名**　@PATIENTNAME

	外来	入院日	入院日:手術前日	手術当日		退院日	退院後の生活
日時	月　日	月　日	月　日	月　日　手術前	月　日　手術後	月　日	月　日～
目標	手術についての説明を理解し、手術に向けての準備ができる。	手術についての説明を理解し、手術に向けての準備ができる。	手術についての理解ができ、不安が最小限となる。 麻酔について理解ができる。	不安を最小限に手術を受けることができる。	傷の痛みや苦痛が和らぎ休息が図れる。	痛みがコントロールできる。 退院ができる。	退院後の生活がイメージできる。
食事		常食または治療食です。 	21時以降は絶食です。 20時より経口補水液(または水)を飲みます。その他の水分は飲まないでください。	6時まで経口補水液(または水)を飲みます。その後は絶飲食です。 	夕食より食事を開始します。 麻酔からの覚醒状況によりますので、水分や食事開始のタイミングは、その都度、お伝えします。	特に制限はありません。	特に制限はありません。 便秘予防:水分を1～1.5L/日を目安に摂取してください。食事はよく噛んでゆっくり食べてください。
活動	特に制限はありません。	特に制限はありません。	特に制限はありません。	特に制限はありません。	手術終了後、麻酔からの覚醒状況を見て、歩行が可能になります。初めて歩行する際は必ず看護師が付き添います。麻酔の影響での転倒などの危険がありますので、指示があるまで1人で歩かないようご協力をお願いします。		
検査処置	手術に必要な検査を行います。 (採血・心電図・レントゲン・呼吸機能検査など)		手術をする場所が左右どちらかわかるように手に印をつけます。		手術後の尿はカップに取り看護師へ教えてください。	診察があります。 手術の傷へのケア方法を説明します。	外来受診日に予約表を持って受診してください。 創部の診察をし、傷をホチキスの様にとめている場合には抜鉤をします。
薬	内服薬を確認しますのでお薬手帳をお持ちください。薬剤師が薬の確認をします。 治療のために休薬が必要な薬剤は医師より説明があります。 薬剤名: 日時:　月　日より休薬 上記以外の薬は普段通りに内服してください。	常用薬を1週間分とお薬手帳をお持ちください。 内容の確認をしますので薬剤師が伺います。 	手術、手術後のお薬の飲み方を説明いたします。	指示がある内服薬のみ飲みます。それ以外の薬は指示があるまで飲みません。	指示がある内服薬のみ飲みます。	必要時、傷の痛み止めの内服薬を処方します。 	
清潔	髭剃りができる用意をお持ちください。 手と足の爪は切ってください。マニキュアやネイルは必ず落としてください。		入浴してください。 泡で身体をきれいに洗ってください。 おへそもきれいに洗います。			次回の外来までは入浴はせずシャワーにしてください。	
指導説明	医師・看護師より手術についての説明があります。外来または、グリーンカウンターでオリエンテーションがあります。 手術の際に貴金属は全て外します。指輪など外れるか　ご確認ください。	外来でお渡ししている同意書や説明書は入院の際にお持ちください。	麻酔科医師の診察と全身麻酔についての説明があります。 病棟内の案内や入院生活・手術の流れなどについて説明があります。	手術中、ご家族は手術室前のロビーでお待ちください。 離れる際はナースステーションにお知らせください。	痛みがある際は看護師にお知らせください。 トイレ以外は安静に過ごしてください。	痛みのある際は看護師へお伝えください。 退院後の生活について説明いたします。 創部のケアの仕方:退院当日にお伝えします。 →方法:	外来受診日までに、創部が腫れる・出血した・じゅくじゅくしている、発熱・腹痛がある、鼠径部が飛び出している(かんとん)などがあれば病院へ連絡をください。 便秘予防をしてください。 外来予約日の受診後の創部のケア方法を説明いたします。

《連絡先》 東京慈恵会医科大学西部医療センター　　TEL:03－3480－1151